



すぎなみ 教育報

No.189

平成20年7月2日

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

区公式ホームページ

<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

..... おわび：「杉並第十小学校の事故について」を4面に掲載しました。

いつも真ん中に、人がいる。 教育ビジョン推進計画を改定しました。

学ぶ人がいて、教える人がいます。育ち育てられる人がいて、育てる人がいます。教育の根本にはまず人がいます。信頼できる先生がいて、すくすくと育つ子どもがいます。それを温かな目で見守る家族がいて、地域の人たちがいます。そんな学校・地域になればと願い、「教育ビジョン推進計画」を改定しました。

例えば学校では...

【30人程度学級をはじめます】

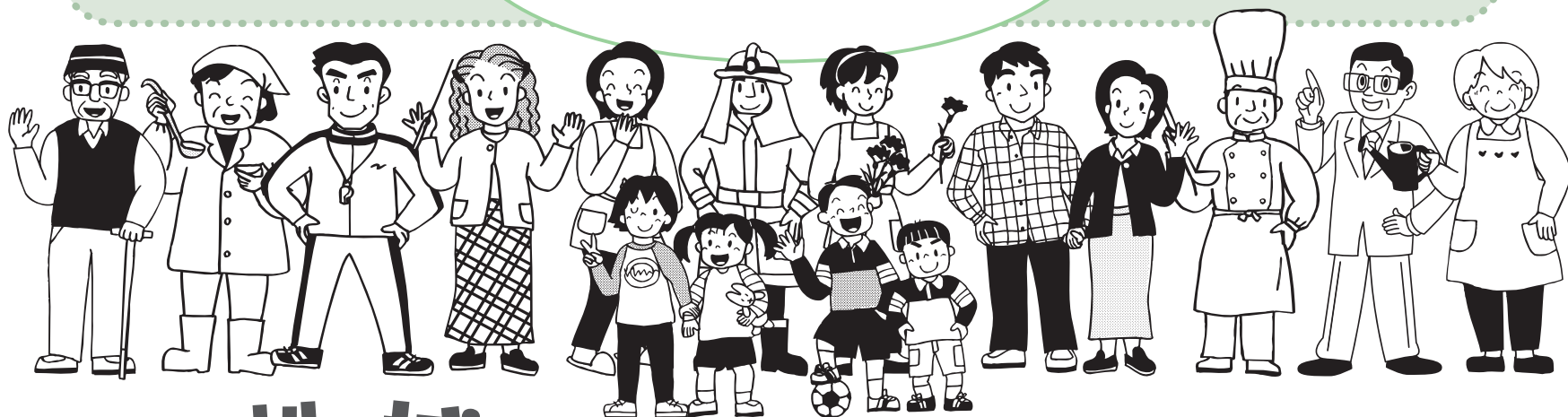
小学校1～4年生で、これまで以上にきめ細やかな指導を行います。

【学習支援教員が指導します】

学習面に困難を抱える児童に対して、学習支援教員が個に応じた指導を行います。

【指導教授を配置します】

「指導教授」と呼ばれるベテランの先生が新人の先生をサポートします。



例えば地域では...

【学校支援本部の取組みを支援します】

地域ぐるみで子どもの学びと成長を支えるため、全校で保護者や地域の方々が学校を支援する仕組みをつくります。

【地域運営学校 (コミュニティ・スクール) として学校を発展させていきます】

地域の方々が学校運営に当事者として参画できる学校を拡充していきます。

【生涯学習を支えます】

子育て・家庭教育のための「家庭学級」、社会教育のための「すぎなみ大人塾」や「車座委員会」を開催し、地域の自主活動を支援します。

※改定された教育ビジョン推進計画（平成20～22年度）の全文は、杉並区公式ホームページや杉並区教育委員会ホームページ、区政資料室（区役所西棟2階）でご覧いただくことができます。 問合せ・・・教育改革推進課



～教育委員会のホームページを見てください！～

教育委員会のホームページには、最新のお知らせやイベント情報、学校案内・各種手続きなど教育に関する情報が盛りだくさん。更に6月から新しく、TOP画面に「学校のできごと」欄を追加しました。そこでは、区立学校の特色ある授業や学校に関わる地域、地域の人たちの取り組みなど、写真をまじえて紹介していきます。これからも色々な情報を発信していきますので、是非ホームページをご覧ください！

杉並区教育委員会公式ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

問合せ 庶務課庶務係

学校の再編を着実に進めるため、「小中学校適正配置基本方針」等を見直します

《これまでの主な取組み》

教育委員会では、将来にわたる児童・生徒数の動向等を見据え、学校の適正規模を確保して、子どもたちに望ましい教育環境を提供していくため、学校の適正配置を進めています。

平成18年2月、「杉並区立小中学校適正配置基本方針」（平成16年7月策定。以下、「基本方針」といいます。）に基づき、「杉並区立小中学校第一次適正配置計画（小学校の統合）」を決定しました。同計画により、杉並第五小学校と若杉小学校を統合し、区内初の統合新校となる天沼小学校が本年4月に開校しました。天沼小学校は、平成22年度に、旧杉並第五小学校の校地に建設する新校舎に移転する予定です。

また、平成19年6月には、区全体で今後必要となる学校数を地域別に示した「小中学校適正配置のための再編構想」（以下、「再編構想」といいます。）を公表し、同年7月から9月にかけて区民等の意見提出手続きを行い、多くの方々からご意見をいただきました。➡

Q 再編構想と同時期に策定した「杉並区立小中学校第一次適正配置計画素案（中学校の統合）」の取り扱いはい？

A 新たな方針等を策定するまでの間、計画素案は一旦凍結することとします。その後の取り扱いについては、新たな方針等に基づき改めて判断していきます。

Q 再編構想では、平成20年度に第二次適正配置計画素案を策定する予定としていたが？

A 今後の適正配置計画は新たな方針等に基づいて進めることになりますので、平成20年度中に第二次適正配置計画素案を策定することは想定していません。

Q 学校施設の耐震化についての取組みは？

A 区では、平成20年3月に「杉並区耐震改修促進計画」を策定し、平成27年度までに区施設については100%の耐震化を図ることとしています。同計画に基づき、耐震上課題のある学校については、児童・生徒の安全を最優先に、可能な限り早期に必要な対応を図っていきます。

《今後の進め方》

こうした経過を踏まえて、今後10年間の推計を改めて精査した結果、区内学齢人口のピークは小学校が平成28年、中学校が平成26年とこれまでの予測よりも遅れ、その間、ほぼ横ばいとはいえ若干の微増で推移する見込みです。【グラフ参照】

少子化が進む中、長期的には区内学齢人口は減少していくこととなりますが、当面の区内学齢人口の動向等を踏まえ、学校の再編を着実に進めていくためには、基本方針及び再編構想の一部見直しが必要であり、再編構想に対する区民等の意見を参考に、区議会における議論も踏まえつつ、それらの見直しを行い、改めて区民等の意見提出手続きを経て、平成20年度中に新たな方針等を策定していきます。

【区内学齢人口推計（15～19年は実数）】



問合せ…学校適正配置担当



◎ひじきごはん……（米）**青森**、（干し椎茸）**大分**、（ひじき）**徳島**（鳥小間）**岩手**、（油揚げ）**佐賀**

◎牛 乳……**千葉・茨城**

◎豆あじの南蛮漬け……（豆あじ）**広島**、（小麦粉）**北海道**、（ねぎ）**千葉**

◎豚 汁……（ごぼう）（豚肩小間）（じゃがいも）**茨城**、（木綿豆腐）**佐賀**（赤みそ）（白みそ）**長野**

◎さくらんぼ……**山形**

（6月11日、三谷小学校の給食です。）

うん、なるほど国内産だ。

この6月から、杉並区の学校給食では、月2回以上、国内産食材だけを使った（調味料の一部をのぞく）、「国内産食材の日」を実施しています。「この食材はどこのものだろう？」「どうやって作られるのだろう」などと、国内の原産地に思いを馳せながら、楽しく学んでいます。さながら「給食で社会科見学」といったところです。

●さらに国内産、そして地元産の食材を●

これまででもできる限り、国内産食材を使用することとしてきましたが、「国内産食材の日」の実施や、新たにもっと身近な「地元野菜デー」を設けて区内農産物の使用を促進することにより、さらに学校給食の安全性を高めます！！

●給食は生きた食育教材●

「国内産食材の日」の実施により、日本の食料需給率や農水産業の実態、食材の産地、伝統的な食生活などを考えるきっかけができます。学校給食を生きた食育の教材として活用して、食への関心を高める取り組みを行います。

「国内産食材の日」のきっかけとなったのが、杉並区の食育リーダー、三谷小学校の江口栄養教諭を中心とした、今年3月の「国産給食への挑戦！」でした。区内全校への導入にあたっては、国内産食材の予算内での確保の仕方など、その約1ヶ月に渡る試行の成果が活かされています。現在は、各校で栄養士さんたちがその知識経験を発揮して「国内産食材の日」を実現させています。

江口先生は言います。「学校給食は教育である」 そう、給食の時間も子どもたちは学んでいるのです。

0 ペン知る➡



七夕に馬..? <年中行事 七夕 ~あなたの願いを短冊に~>

郷土博物館にある古民家に笹飾りと七夕馬を展示します。期間中は、願い事を短冊に書いて笹に結ぶことができます。ところで、七夕のときに、チガヤやワラで作った雌雄対の馬を置く風習をご存知ですか。これは主に関東・東北地方を中心に伝えられていて、この馬は、七夕様の乗り物とも、盆にやってくるご先祖様の乗り物ともいわれています。開催期間：7月1日（火）～6日（日）

知ろう！作ろう！郷土博物館

問合せ・申込
郷土博物館 ☎3317-0841



みんなのいのち

みんな、大切な、いのち。



わたしのいのち



あたらしいいのち

（桃井第四小学校）—いのちのダンス

春の運動会（モモリンカップ2008）で披露された「いのち輝け！桃四小！」。両手をいっばいに広げ、みんなの輝くいのちを表現します。みんなのいのちが、いのちの水によって花開いていきます。

（杉並第六小学校）—読み聞かせ

絵本「カーくんと森のなかまたち」元気をなくしてしまったホシガラスのカーくんは、森の仲間たちの励ましにより自信をもって生きていく力を取り戻します。あなたがそこにいること。それだけでみんなうれしいのです。（読み手は絵を描いた夢ら丘実果さん）

（八成小学校）校長先生の話

はじまったばかりの新しい命を抱きしめ、いのちが生まれる喜びを、尊さを思うこと。赤ちゃんのあどけない笑顔は、いのちのかけがえのなさを、思い出させてくれます。（写真は、校長先生とお孫さん）

本年度より、杉並区のすべての公立の小中学校では「自他の『いのち』を大切に作る心」をはぐくむ教育を推進する「いのちの教育月間」を5月と9月に実施しています。

いのちの教育の取組みの中で「あたえられたいのち」「支えられてきたいのち」「受けつがれるいのち」「かけがえのないいのち」を子どもたち一人ひとりが、自分のなかで、考えをしっかりと深めていきます。

いのちのピンチに気付いたら…



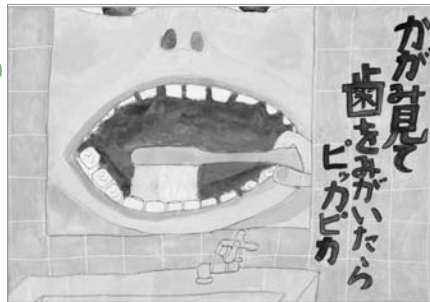
子どもたちの心の動きを見つめてあげてください。少しでも心配なことがあったら、

○まずは担任の先生や、養護の先生に相談してみましょう。また、区内小学校には、心の専門家であるスクールカウンセラーが駐在しています。身近な頼れる存在です。

○杉並区立済美教育センターでは、電話相談窓口を設けています。お子様も保護者の方も心の悩みがありましたらどうぞご相談ください。

問合せ…済美教育センターの教育相談窓口 TEL.3317-1190

母からもらった大事な歯 自分で育てた大事な歯



この歯は私のじまんの歯

標語：《金賞》高井戸第四小 安田有希さん
図画・ポスター：《区長賞》（右）桃井第一小 福島晴さん
《会長賞》（左）西田小 小竹かりんさん
（真中）松庵小 大村篤史さん

「歯の衛生に関する作品」（杉並区歯科医師会・杉並区学校歯科医会主催）に今年も区立学校の小・中学生から2,596点もの作品が寄せられました。皆さんから送られた作品のとおり、ピッカピカのきれいな歯でいることは、とても大事なことです。いつまでも「じまんの歯」でいきましょう。

受賞された皆さん、おめでとうございます！

図画・ポスター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
《金賞》 ◎杉並第一小 宮内 そら ◎東田小 山本 哲也
◎桃井第一小 細谷 英里 ◎中瀬中 三田 麻優子
《銀賞》 7名（小学校 6名・中学校 1名）
《銅賞》 10名（小学校 10名・中学校 該当なし）
標語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
《金賞》 ◎松ノ木小 津野 日向 ◎桃井第五小 竹下 怜那
◎高井戸第四小 宮本 光 ◎久我山小 辰巳 葉月
◎富士見丘小 山本 裕己 ◎向陽中 太田 美緒
◎富士見丘中 佐藤 文菜
《銀賞》 11名（小学校 6名・中学校 5名）
《銅賞》 16名（小学校 7名・中学校 9名）
作文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
《金賞》 ◎永福小 山本 大晃 ◎和田中 原 恵子
《銀賞》 2名（小学校 1名・中学校 1名）
《銅賞》 3名（小学校 1名・中学校 2名）

0 ペン知る➡



丸ノ内線のこんな車両、見たことありますか..? <ミニ写真展 杉並の電車>

杉並区内を走る鉄道の、新旧の駅や電車の写真を展示します。区内を走る電車を通して、杉並の昔と今を比べることもできます。開催期間：7月19日（土）～12月21日（日） ※関連行事<ペーパークラフトで中央線、丸ノ内線の車両を作ろう！>開催日：8月24日（日）①午前10時～12時（対象：小学4年生～中学生）②午後2時～4時（対象：一般）①は7月1日から電話申込受付開始（先着20名）、②は申し込み不要。直接会場へ（先着20名）。

杉並第十小学校の事故について

6月18日（水）午前9時25分ごろ、区立杉並第十小学校において、6年生男子児童が3階建て校舎屋上にあるトップライト（明り取り窓）から転落し、死亡するという大変痛ましい事故が起きました。

1時間目の算数の体験学習終了後、教室に移動する際、当該児童がトップライトに乗り、ドーム型の強化プラスチックの覆いが割れ、1階のコモンスペースに転落し、全身を強打したものです。

直ちに救急車を要請し、児童は病院に搬送され、集中治療室で治療を受けましたが、同日午後1時すぎに亡くなりました。

当日午後に全校集会を開き、全ての児童に事故の説明を行い、事故を目撃した児童に対し、カウンセリングを実施しました。また、夜には臨時保護者会を開催し、事故概要の説明を行いました。

教育委員会では、保護者や区民の皆様から「学校は安全である」との信頼を回復できるよう、次の取り組みを進めています。

（問合せは、教育委員会事務局庶務課へ。）

◇学校施設等の安全点検を行い、再発防止と安全管理を徹底します。

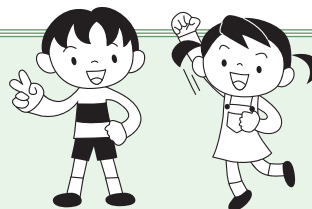
1. トップライトを設置してある13校について、(1)立入り禁止措置の徹底、(2)安全点検の実施、(3)強固な安全対策を講じる。
2. 当面、屋上の利用を一時禁止し、安全点検を行うとともに、必要な安全対策を講じる。
3. 学校教職員の危機管理意識を改めて喚起し、学校施設全般及び教育活動全般について、安全面からの必要な点検と対策に取り組む。

◇一定期間スクールカウンセラーを3名体制で派遣し、当該校の児童の心のケア等を支援していきます。

◇「事故調査委員会」において、早急に原因の究明を行い、再発防止に取り組んでまいります。

【井出隆安 杉並区教育委員会教育長】

お亡くなりになりました杉並第十小学校児童のご冥福を心よりお祈り申し上げます。本来、どこよりもまして安全でなくてはならない学校で、このような事故が発生したことについて、深く反省いたしますとともに、心よりお詫び申し上げます。すべての区立小学校・中学校にて緊急の安全点検などを行っており、二度とこのような痛ましい事故が起きないように、安全管理の徹底に努めてまいります。



大人の経験や知識を子どもたちに。

子どもの発見を地域づくりのヒントに。

地域にはさまざまな関心や意欲をもった人たちが、たくさん住んでいます。社会教育センターでは、そうした大人と子どもたちが、世代をこえてつながりあい刺激しあえる、そんなわくわくするような地域づくりに向け、大人が学びきっかけを用意しています。

●大人の経験をカードゲームに！ 社会科外伝●

社会人の仕事の知識・技術経験を学校教育の支援に活かす、車座委員会（社会教育事業推進委員会）の試み、「社会科外伝」。日本の産業について学ぶ小学5年生向け教材の作成を目的に、昨年度一年間取り組んできました。

元自動車メーカー勤務の方の経験から作成した教材第一弾は、子どもたちにも馴染みのあるカード形式。

平成20年3月、教材を使った模擬授業を高井戸小学校で行いました。子どもたちから「これでトランプみたいなのができると、もっと楽しく勉強できるよ」などといったアドバイスをもらう一方、カードには皆興味深々で大人たちを質問攻めにしていました。今年度は更に多くの社会人の方に参加を呼びかけ、様々な仕事経験をカード化していく予定です。



カードをきっかけに子どもの想像力を引き出します。

●大人も「エコ心」を育てよう！すぎなみ大人塾●

今年度5月からはじまった「すぎなみ大人塾」昼コースでは、楽しく地域のつながりとエコについて学んでいます。前半は、消費者としての私たちが、作り手・発信者になることの大切さについて、実際に「日本綿（和綿）」を育てることなどもしながら考えていきます。衣類のなかで綿製品がこれだけ出回っているにもかかわらず、自給率はほぼ0%。子どもたちだけでなく大人も、畑ではじけた綿がどんな工程で糸になっていくのか見たことがない、ということにも気付かされます。

6月には緑のカーテンを育てる意味、7月には植物の持つ力を多面的に学ぶとともに、「私」発のエコな暮らし方を参加者相互に交流・発信します。後半は、「エコ心」を形にする「ファクトリー＝工房」計画もあります。

学校エコスクール化はどんどん進んでいます。そうした環境で子どもたちが日々発見することを支え、二倍にも三倍にも育てていくために、大人も「エコ心」を育てていきましょう。



綿つむぎを体験しながら学びを深めます。

問合せ：社会教育センター（セシオン杉並内） 電 話：03-3317-6621

教育委員会の動き 20年3月～5月

【教育委員会開催状況】

・定例会	5回
・臨時会	1回
・議案	44件
・報告事項	18件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

- ◎平成19年度杉並区指定・登録文化財について
- ◎「杉並区教育ビジョン推進計画（平成20～22年度）」について
- 学校給食の標準給食費の改定について
- 学校適正配置の今後の進め方等について
- 平成20年度学習支援教員制度の概要について
- 平成20年度指導教授制の概要について
- 平成20年度スクールソーシャルワーカー（SSW）事業の概要について



杉並ユネスコ協会主催 ユネスコ教室 ～世界に触れる夏～

福島県・那須甲子青少年自然の家での3泊4日のサマーキャンプを中心とした学習プログラム。ウォークラリーやキャンプファイヤーなど、青年部の高校生・大学生が企画したプログラムで、いろいろな国の中学生と交流を深め、国際感覚を磨きます！

日時：平成20年 7月30日(水)～8月6日(水) 対象：区内在住または在学の中学生・小学6年生 定員：60名 費用：20000円

申込み：往復はがきに行事名・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・学校名・学年を書いて、保護者署名の上、下記へ

郵送してください。（〆切7月15日）〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 杉並区社会教育センター

問合せ：杉並ユネスコ協会：板倉 ☎3395-4020 杉並区立社会教育センター・ユネスコ担当：☎3317-6621

●再生紙を使用
しています